

研修ニュース

〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地
TEL&FAX : 0595 (21) 8839 E-Mail : iga-ken@iga.ed.jp



研修講座 B-18 「図書館教育②」を実施しました！ 「人はなぜ、本を読むのか」

【講師】子どもの本専門店「メリーゴーランド」店主 増田 喜昭さん

1月26日(月)、4月1日に開館を迎える伊賀市中央図書館学習室にて「図書館教育②」の研修講座を実施しました。一歩中に入ると、そこにはモダンで落ち着いた空間が広がっていました。ぜひ子どもたちに活用してもらいたいと思います。もしかしたらお気に入りの場所になるかもしれません。



さて今年度も増田さんにご講演いただきました。冒頭「子どもが本を読むには、大人が本を読む姿を見せること」と話されました。この言葉が印象的であったと多くの参加者も感想でふれています。ここで、私自身も心に残った増田さんの数々の言葉を紹介します。子どもたちを読書好きにするヒントが詰まっていることと思います。

- 1冊の本を読み終えると、子どもは1つの旅を終えた青年の如く、たくましく成長する。真剣に新しいものを見る目が育つ。
- 図書も「人」が大事。どんなに環境が整っていても、演出できる「人」がいないとダメ。
- 自分が気に入った本があれば、その作者の名前を覚える。そして100%その人の本を読む。そうしたら人生がめっちゃくちゃ楽しく豊かになる。ぼくがそうだったから。全作を読んで、作者が言いたかった真実を見つけ出す。それが醍醐味。
- 本棚は再読するためにある。○中学生の間に大好きな1冊を見つけてほしい。
- 読書は「本と会話すること」。本に書いてあることを映像化していくこと。
- 子どもに自分の大好きな本について熱く語ってほしい。

研修に参加された先生方には、校内で還流していただき、「本を読みたい」と子どもたちが思うような実践に活かしていただきますよう、お願いします。

アンケートより【一部抜粋】

- ・とても楽しい時間でした。今まで本を選ぶときは、全て自分の主観で選んでいるので、司書さんと話していろいろな本の発見ができればと思います。【保】
- ・「子どもに本を読ませるには、大人が本を読む姿を見せること」という言葉が心に残りました。読書を楽しむ姿を子どもに見せていきたいと思います。増田さんの本の紹介の仕方が「読んでみたい」と思わせるものでした。あんな風に子どもに本を紹介できるようになりたいと思いました。ユーモアや遊び心をもって、楽しく子どもたちと関わっていききたいです。また今日学んだことを学校でも共有したいと思います。【小】
- ・最近本に興味をもってくれる生徒が増えました。「先生、これどんな本？」「こんな本、ある？」とよく聞かれます。全ての本は把握できなくても、私もできるだけいろんな本を読み、増田さんのように楽しく紹介したいと思いました。【中】
- ・「子どもを本好きにするには、大人が本を読む」「自分が読んだ本を子どもに熱く語ってあげる」とおっしゃったことが印象に残りました。楽しいお話をありがとうございました。【司】